



## 2026年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2026年5月13日

上場会社名 大日本塗料株式会社  
 コード番号 4611 URL <https://www.dnt.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 里 隆幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 永野 達彦 TEL 06-6266-3102

定時株主総会開催予定日 2026年6月24日 配当支払開始予定日 2026年6月25日

有価証券報告書提出予定日 2026年6月23日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	93,759	29.3	3,854	18.3	4,479	13.8	1,688	82.1
2025年3月期	72,511	0.8	4,716	3.8	5,199	2.6	9,437	105.1

(注) 包括利益 2026年3月期 3,376百万円 ( 51.3%) 2025年3月期 6,933百万円 ( 20.0%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	59.16	58.86	2.6	3.3	4.1
2025年3月期	331.40	329.61	15.2	4.4	6.5

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 362百万円 2025年3月期 4百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	137,490	76,676	48.6	2,337.80
2025年3月期	133,344	76,170	48.8	2,281.92

(参考) 自己資本 2026年3月期 66,773百万円 2025年3月期 65,027百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	3,011	3,397	189	10,913
2025年3月期	3,570	364	75	11,469

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期		0.00		49.00	49.00	1,396	14.8	2.2
2026年3月期		0.00		58.00	58.00	1,656	98.0	2.5
2027年3月期(予想)		0.00		58.00	58.00		48.7	

### 3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	47,500	3.3	2,100	15.5	2,250	5.9	1,250	11.1	43.91
通期	96,000	2.4	5,500	42.7	5,800	29.5	3,400	101.4	119.21

注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1 社 (社名) ボンフロン株式会社、除外 社 (社名)

(注)詳細は、添付資料14ページ「4. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(期中における連結範囲の重要な変更)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期	29,710,678 株	2025年3月期	29,710,678 株
2026年3月期	1,148,145 株	2025年3月期	1,213,777 株
2026年3月期	28,540,410 株	2025年3月期	28,476,760 株

期末自己株式数

期中平均株式数

(参考) 個別業績の概要

2026年3月期の個別業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	43,105	0.5	369	65.2	3,229	4.7	2,048	9.3
2025年3月期	43,341	0.1	1,062	10.0	3,085	5.2	2,258	23.0

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	71.77	71.40
2025年3月期	79.30	78.87

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2026年3月期	76,600	39,186	39,186	38,836	51.0	1,367.72	1,357.96	
2025年3月期	74,260	38,836	38,836	38,836	52.1	1,357.96	1,357.96	

(参考) 自己資本 2026年3月期 39,065百万円 2025年3月期 38,697百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 企業集団の状況 .....	5
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
4. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(期中における連結範囲の重要な変更) .....	14
(連結キャッシュ・フロー計算書関係) .....	14
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	17
(重要な後発事象) .....	17
5. 個別財務諸表及び主な注記 .....	18
(1) 貸借対照表 .....	18
(2) 損益計算書 .....	20
(3) 株主資本等変動計算書 .....	21
6. その他 .....	23
役員の異動 .....	23

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、緊張状態が継続する中東情勢や米国の通商政策の動向など、海外景気の下振れリスクに対する警戒感が高まっております。加えて、円安やエネルギー価格の高騰、原材料の供給制約や価格変動により調達環境は不安定な状況が続いており、企業収益の下押し要因となっていることから、先行きは引き続き不透明な状況にあります。

このような状況の下、当社グループの経営成績は、売上高は937億5千9百万円（前期比 29.3%増）、営業利益は38億5千4百万円（同 18.3%減）、経常利益は44億7千9百万円（同 13.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は16億8千8百万円（同 82.1%減）となりました。

売上高は、国内塗料事業および海外塗料事業における販売が低調に推移するなか、前期に連結子会社となった神東塗料グループの損益を当期より連結に含めたことにより、前期を大きく上回りました。一方で当該連結化による利益面への寄与は国内、海外ともに限定的であるほか、販売の伸び悩みによる収益性の低下や人件費等を中心とした経費増加の影響が大きく、営業利益及び経常利益は前期を下回りました。親会社株主に帰属する当期純利益は、前期に計上した負ののれん発生益の剥落に加えて、近年低迷が続く中国事業の構造改革として実行した中国製造子会社の持分譲渡契約締結により関係会社整理損を計上した結果、前期を大きく下回りました。なお、当該子会社の連結除外は2027年3月期中間期を予定しており、以降、中国事業における営業赤字は解消する見通しです。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### [国内塗料事業]

売上高は718億7千万円（前期比 41.1%増）、営業利益は12億3千1百万円（同 37.4%減）となりました。

一般用分野は、2025年11月にJISマーク表示の一時停止処分が解除されたものの、期中においては販売の本格的な回復には至らず、売上高は前期を下回りました。工業用分野は、自動車部品用途や各種建材用途などの一部市況が低調に推移し、売上高は前期を下回りました。インク・分散技術関連は、期末にかけて主要顧客の在庫調整の影響を受けたほか、新規顧客の獲得に遅れが生じ、売上高は前期を下回りました。当セグメント全体の売上高は、神東塗料グループの連結化により前期を大きく上回りました。

営業利益は、製品ミックスの改善や価格は正に継続して取り組んだものの、販売の伸び悩みによる収益性の低下に加え、人材確保・育成に向けた人件費の増加により、前期を下回りました。

#### [海外塗料事業]

売上高は85億9千万円（前期比 5.6%増）、営業利益は3億6千8百万円（同 54.1%増）となりました。

東南アジアでは、タイを中心に日系自動車メーカーの生産低迷に伴う需要減少が継続しましたが、神東塗料グループの連結化により、売上高は前期を上回りました。メキシコでは、低採算品の販売抑制や主要顧客における在庫調整の影響を受け、売上高は前期を下回りました。中国では、各種工業用途における需要の減少により、売上高は前期を下回りました。

営業利益は、東南アジアおよびメキシコにおいて販売が低迷したものの、中国におけるコスト抑制により、前期を上回りました。

#### [照明機器事業]

売上高は104億2千4百万円（前期比 0.1%増）、営業利益は19億2千8百万円（同 6.6%減）となりました。

LED照明分野は、再開発案件を中心とした商業施設向けや宿泊施設向けの堅調な需要に支えられ、売上高は前期を上回りました。他方、UVランプ分野における特定顧客向けの需要減少や蛍光灯分野の市場縮小等の影響は見られましたが、LED照明分野の伸長がこれらを補い、当セグメント全体の売上高は前期をわずかに上回りました。

営業利益は、前期に実施した本社移転に伴う減価償却費の増加や人材確保・育成のための人件費の増加が影響し、前期を下回りました。なお、価格戦略等による製品収益性の向上は着実に進んでおり、全体として概ね堅調な推移となりました。

#### [蛍光色材事業]

売上高は10億8千8百万円（前期比 6.1%減）、営業利益は、6千4百万円（同 8.5%増）となりました。

顔料分野は、EU地域等における海外向け需要の回復や文具向けへの新規採用により、売上高は前期を上回りました。一方で加工品分野は、前期における大口物件の剥落により、売上高は前期を下回りました。これにより、当セグメント全体の売上高は、前期を下回りました。

営業利益は、高付加価値製品の販売伸長および経費圧縮に努めたことにより、前期を上回りました。

#### [その他事業]

売上高は17億8千5百万円（前期比 5.0%減）、営業損失は3千7百万円（前期は営業利益7千9百万円）となりました。

物流事業は、取扱量の減少により、売上高は前期を下回りました。塗装工事業は工事受注が堅調に推移し、売上高は前期を上回りました。

営業利益は、塗装工事において収益率の高い物件受注が増加した一方、物流事業における拠点集約に伴う一過性費用の計上により、前期を下回りました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、1,374億9千万円となり、前連結会計年度末と比較して41億4千6百万円の増加となりました。流動資産は、512億5千8百万円で前連結会計年度末と比較して18億7百万円の減少となりましたが、これは現金及び預金の減少、受取手形、売掛金及び契約資産の減少が主因であります。固定資産は、862億3千1百万円で前連結会計年度末と比較して59億5千3百万円の増加となりましたが、これは有形固定資産の増加、投資その他の資産の増加が主因であります。

負債は、608億1千3百万円となり、前連結会計年度末と比較して36億3千9百万円の増加となりました。流動負債は、374億9千8百万円で前連結会計年度末と比較して21億4千3百万円の減少となりましたが、これは支払手形及び買掛金の減少、短期借入金の減少、リース債務の減少が主因であります。固定負債は、233億1千5百万円で前連結会計年度末と比較して57億8千3百万円の増加となりましたが、これは長期借入金の増加、リース債務の増加、繰延税金負債の増加が主因であります。

純資産は、766億7千6百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億6百万円の増加となりましたが、これは利益剰余金の増加、為替換算調整勘定の増加、退職給付に係る調整累計額の増加が主因であります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より5億5千6百万円減少し、109億1千3百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動により得られた資金は、30億1千1百万円（前連結会計年度は35億7千万円の収入）となりました。これは税金等調整前当期純利益及び減価償却費等による収入と、退職給付に係る資産の増加、法人税等の支払及び仕入債務の減少等の支出が主因であります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動により使用した資金は、33億9千7百万円（前連結会計年度は3億6千4百万円の支出）となりました。これは定期預金の払戻による収入及び投資有価証券の売却による収入と、有形固定資産の取得及び連結範囲変更を伴う子会社株式取得等の支出が主因であります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動により使用した資金は、1億8千9百万円（前連結会計年度は7千5百万円の支出）となりました。これは長期借入金の借入等の収入と、短期借入金の返済及び配当金の支払等の支出を主因であります。

## (4) 今後の見通し

次期（2027年3月期）における当社グループを取り巻く事業環境としましては、国際的な政治・経済の不確実性が増しており、とりわけ地政学リスクの高まりに伴うエネルギー価格の変動や原材料供給のひっ迫など、サプライチェーンの混乱やコスト上昇圧力に対し、引き続き強い警戒が必要な状況です。

国内塗料事業においては、建築・土木分野での人手不足や住宅着工件数の長期的な低迷という構造的な課題を抱えており、当社グループにおいては生産体制の最適化が重要課題として挙げられます。一方、各種の金属製品や機械向けの工業用分野では安定的な需要が期待され、各用途に適した塗料及び塗装工程の提案を通じて顧客訴求力を強化してまいります。海外塗料事業においては、業績低迷が続いておりました中国事業について、2027年3月期中に予定する中国製造子会社の連結除外をもって、構造改革には一定の区切りがつく見通しです。今後は、神東塗料グループの海外事業活用も視野に入れ、事業成長に向けたリソースの再配分を進めてまいります。照明機器事業については、都市部の再開案件を背景に堅調な需要環境の継続が見込まれており、2024年度に竣工した新本社内に設立した技術センターを活用し、様々な空間に対応する製品ラインナップや顧客ニーズを実現するカスタマイズ力をさらに強化するとともに、生産効率化及び将来的な能増を視野に入れた工場の増改築に着手しております。

このような情勢の中、当社グループは変化に強い企業体質の確立を進めるとともに、全てのステークホルダーの皆さまからの信頼回復に向け、品質管理を中心としたガバナンス体制の徹底・強化を最優先課題として取り組んでおります。コンプライアンスの徹底はもとより、全社員が自律的に正しく判断できる組織風土の再構築を急ぎ、ガバナンス

の実効性を高める具体的な取り組みを全社一丸となって推進してまいります。

当社グループは、ビジョン2029の実現に向けた第1フェーズとして、2024年度から2026年度までの3か年を「事業戦略と基盤の深化」に注力する期間と位置づけた「2026中期経営計画」を推進しております。本計画では、従来の経営戦略や事業ポートフォリオを見直し、以下の3つの基本方針に基づいた諸施策に取り組んでおります。

基本方針	概要
成長市場と先駆的領域への注力	<ul style="list-style-type: none"> <li>各事業の有機成長の推進と、新たな成長ドライバの育成に向けた、リソース配分の最適化と戦略投資の実行</li> <li>顧客ニーズに沿ったサステナビリティ貢献製品・海外製品等、開発力の強化</li> </ul>
外部リソース獲得・活用による事業基盤の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>M&amp;Aや業務提携等のアライアンス活動を通じた塗料事業の基盤拡大及び抜本的効率化</li> <li>自立的な事業推進に向けた外部リソース獲得による海外事業基盤の拡大</li> </ul>
人材及び事業活動の全社最適化	<ul style="list-style-type: none"> <li>採用、育成強化及び人材・組織の最適化、職場環境の整備</li> <li>製品開発力と総合提案力を最大化する組織・グループ間協働の強化</li> <li>適時かつ適切な設備更新及びDXの活用による、生産性の更なる向上</li> </ul>

次期の連結業績見通しは、次のとおりです。

(単位：百万円)

	2026年3月期 (実績)	2027年3月期 (予想)	増減額	増減率
売上高	93,759	96,000	+ 2,240	+ 2.4%
営業利益	3,854	5,500	+ 1,645	+ 42.7%
経常利益	4,479	5,800	+ 1,320	+ 29.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,688	3,400	+ 1,711	+ 101.4%

2027年3月期の業績予想には直近の中東情勢による原材料調達への影響等の変動要素は織り込んでおらず、国産ナフサ価格は63,000円/KLの前提で作成したものです。

一方で当社といたしましては、足元の事業環境を踏まえ、安定調達と安定供給に最大限努め、適切な範囲での価格是正を行うことで、前記の業績予想の達成を目指してまいります。

なお、次期の見通しについては現時点で得られた情報に基づいて算出しておりますが、実際の業績は経済状況・事業環境の変化や原材料価格の動向等の様々な要因により異なる可能性があります。

#### (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

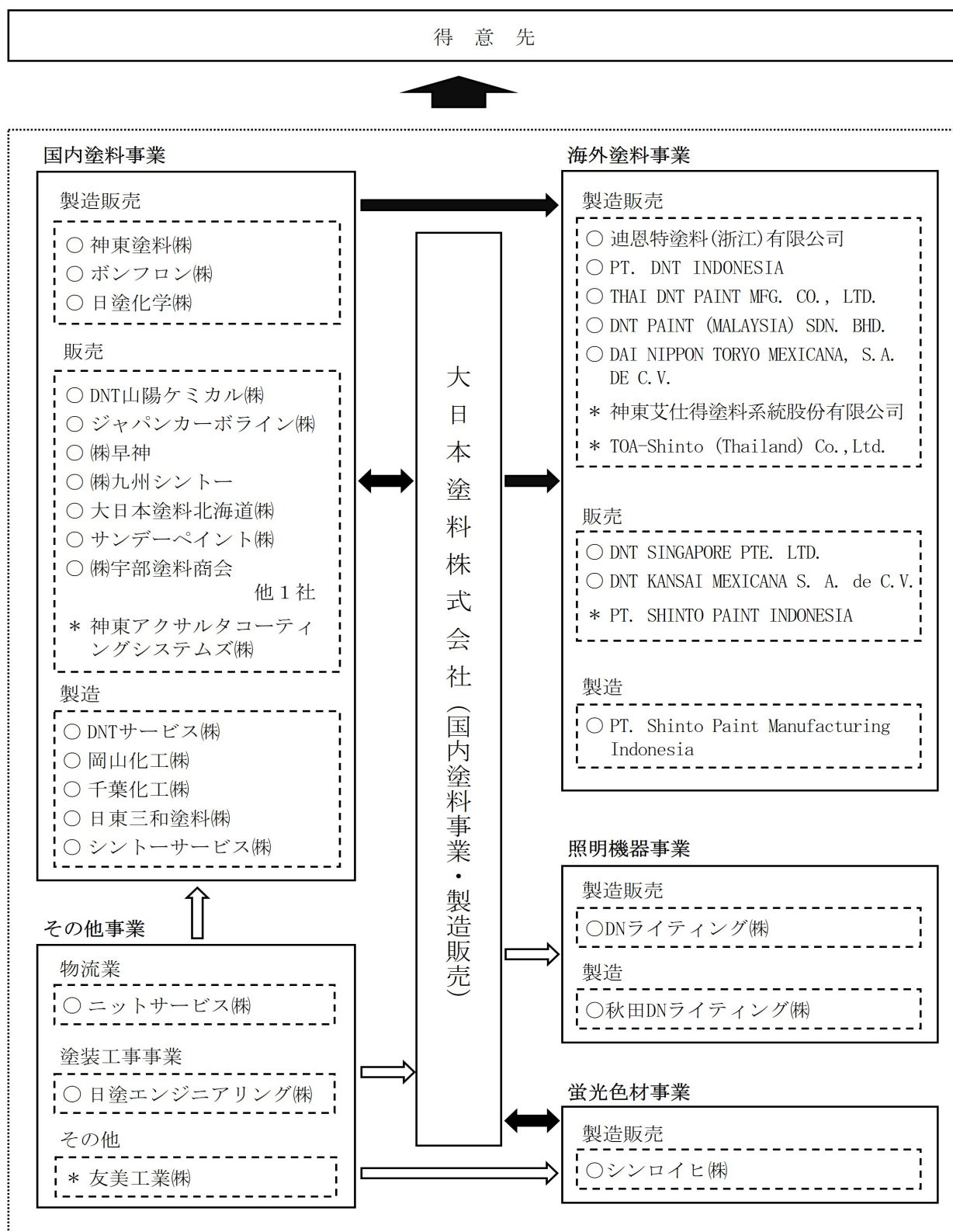
当社は、資本コストや株価を意識した経営の実現に向け、株主の皆様に対する配当額の決定を経営上の重要課題の一つと位置づけており、企業体質の強化、財務内容の健全性維持に努めつつ、業績に応じた配当を安定的に継続実施することを基本方針としております。

2026中期経営計画における株主還元方針としては、長期安定的な配当を行うべく、株主還元指標にDOE(株主資本配当率)を導入し、前期末の株主資本に対する配当率を2026年度までに3.0%とすることを掲げております。

これらに基づき、当期末の配当金は1株当たり58円を予定しております。これは2025年3月期末の株主資本の3.0%に相当する水準です。次期連結会計年度の配当金については、1株当たり58円の年間配当を予定しております。これは2026年3月期末の株主資本の3.0%に相当する水準です。今後とも安定的な配当を継続して実施すべく、中期経営計画の実行を通じて、事業基盤の拡大と収益性の改善並びに効率化を図ることで、持続的な成長の実現に努めてまいります。

## 2. 企業集団の状況

事業の系統図は次のとおりであります。



○ : 連結子会社

\* : 持分法適用会社

➡ 製品・原材料等

⇨ サービス業務等

## 3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

将来のIFRS適用に備え、社内マニュアルや指針等の整備及びその他適用時期について検討をする方針であります。

## 4. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,649	11,332
受取手形、売掛金及び契約資産	15,709	14,312
電子記録債権	8,073	8,868
商品及び製品	8,423	8,474
仕掛品	1,010	945
原材料及び貯蔵品	5,238	5,542
その他	1,984	1,891
貸倒引当金	△22	△108
流動資産合計	53,066	51,258
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,877	41,741
減価償却累計額	△28,112	△28,988
建物及び構築物 (純額)	9,764	12,753
機械装置及び運搬具	38,801	40,725
減価償却累計額	△34,347	△35,577
機械装置及び運搬具 (純額)	4,454	5,147
土地	27,737	27,266
リース資産	1,210	878
減価償却累計額	△1,118	△852
リース資産 (純額)	91	26
建設仮勘定	2,006	1,033
その他	10,421	10,983
減価償却累計額	△8,436	△8,941
その他 (純額)	1,985	2,042
有形固定資産合計	46,040	48,270
無形固定資産		
のれん	—	333
リース資産	5	0
その他	1,404	1,159
無形固定資産合計	1,410	1,492
投資その他の資産		
投資有価証券	9,447	8,822
繰延税金資産	1,477	1,487
退職給付に係る資産	21,215	25,189
その他	704	987
貸倒引当金	△19	△18
投資その他の資産合計	32,826	36,468
固定資産合計	80,277	86,231
資産合計	133,344	137,490

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,686	15,491
電子記録債務	3,600	3,628
短期借入金	10,536	8,668
リース債務	295	126
未払法人税等	856	802
賞与引当金	198	248
役員賞与引当金	82	72
製品補償引当金	252	156
品質関連損失引当金	320	254
開発中止損失引当金	80	66
関係会社整理損失引当金	—	988
その他	6,732	6,993
流動負債合計	39,641	37,498
固定負債		
長期借入金	1,040	5,831
リース債務	351	506
繰延税金負債	11,903	12,644
再評価に係る繰延税金負債	1,215	1,215
退職給付に係る負債	2,242	2,336
役員退職慰労引当金	11	13
企業結合に係る特定勘定	659	659
その他	107	107
固定負債合計	17,532	23,315
負債合計	57,173	60,813
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,827	8,827
資本剰余金	2,440	2,440
利益剰余金	44,642	44,934
自己株式	△1,394	△1,318
株主資本合計	54,515	54,883
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,318	3,015
土地再評価差額金	1,669	1,669
為替換算調整勘定	2,275	2,422
退職給付に係る調整累計額	3,248	4,782
その他の包括利益累計額合計	10,512	11,889
新株予約権	138	120
非支配株主持分	11,003	9,782
純資産合計	76,170	76,676
負債純資産合計	133,344	137,490

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	72,511	93,759
売上原価	50,047	67,881
売上総利益	22,463	25,878
販売費及び一般管理費	17,747	22,024
営業利益	4,716	3,854
営業外収益		
受取利息	127	104
受取配当金	276	276
為替差益	127	42
持分法による投資利益	—	362
物品売却益	117	102
その他	184	332
営業外収益合計	832	1,220
営業外費用		
支払利息	81	225
売上債権売却損	38	49
製品補償引当金繰入額	146	38
支払手数料	6	186
その他	76	94
営業外費用合計	348	594
経常利益	5,199	4,479
特別利益		
投資有価証券売却益	2,131	1,410
負ののれん発生益	5,205	—
その他	332	217
特別利益合計	7,669	1,627
特別損失		
固定資産処分損	244	232
減損損失	519	996
品質関連損失	234	389
関係会社整理損	—	1,043
その他	108	12
特別損失合計	1,106	2,673
税金等調整前当期純利益	11,762	3,433
法人税、住民税及び事業税	1,288	1,520
法人税等調整額	831	126
法人税等合計	2,119	1,647
当期純利益	9,643	1,786
非支配株主に帰属する当期純利益	206	98
親会社株主に帰属する当期純利益	9,437	1,688

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	9,643	1,786
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,960	△277
土地再評価差額金	△34	—
為替換算調整勘定	1,217	275
退職給付に係る調整額	△1,931	1,536
持分法適用会社に対する持分相当額	—	55
その他の包括利益合計	△2,709	1,589
包括利益	6,933	3,376
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	6,439	3,066
非支配株主に係る包括利益	494	310

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	8,827	2,440	36,191	△1,431	46,026
当期変動額					
剰余金の配当			△996		△996
親会社株主に帰属する当期純利益			9,437		9,437
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△3		37	34
自己株式処分差損の振替		3	△3		—
土地再評価差額金の取崩			13		13
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	8,451	37	8,488
当期末残高	8,827	2,440	44,642	△1,394	54,515

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	5,279	1,717	1,346	5,179	13,523	155	2,784	62,490
当期変動額								
剰余金の配当								△996
親会社株主に帰属する当期純利益								9,437
自己株式の取得								△0
自己株式の処分								34
自己株式処分差損の振替								—
土地再評価差額金の取崩								13
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,960	△48	929	△1,931	△3,011	△17	8,219	5,191
当期変動額合計	△1,960	△48	929	△1,931	△3,011	△17	8,219	13,679
当期末残高	3,318	1,669	2,275	3,248	10,512	138	11,003	76,170

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	8,827	2,440	44,642	△1,394	54,515
当期変動額					
剰余金の配当			△1,396		△1,396
親会社株主に帰属する当期純利益			1,688		1,688
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		0		75	76
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	0	292	75	368
当期末残高	8,827	2,440	44,934	△1,318	54,883

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	3,318	1,669	2,275	3,248	10,512	138	11,003	76,170
当期変動額								
剰余金の配当								△1,396
親会社株主に帰属する当期純利益								1,688
自己株式の取得								△0
自己株式の処分								76
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△302		146	1,534	1,377	△17	△1,221	138
当期変動額合計	△302	—	146	1,534	1,377	△17	△1,221	506
当期末残高	3,015	1,669	2,422	4,782	11,889	120	9,782	76,676

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	11,762	3,433
減価償却費	2,484	3,089
品質関連損失	148	389
関係会社整理損	—	1,043
負ののれん発生益	△5,205	—
段階取得に係る差損益 (△は益)	—	△61
賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	22
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	22	△9
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	1
退職給付に係る資産負債の増減額	△2,065	△1,472
製品補償引当金の増減額 (△は減少)	87	△107
品質関連損失引当金の増減額 (△は減少)	86	△65
開発中止損失引当金の増減額 (△は減少)	80	△14
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9	84
受取利息及び受取配当金	△403	△380
支払利息	81	225
持分法による投資損益 (△は益)	4	△362
固定資産売却損益 (△は益)	△57	△155
固定資産処分損益 (△は益)	244	232
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2,131	△1,410
減損損失	519	996
子会社株式売却損益 (△は益)	△274	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,223	1,358
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△251	△62
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,397	△2,199
その他	136	△158
小計	5,084	4,417
利息及び配当金の受取額	403	691
利息の支払額	△81	△220
品質関連損失の支払額	△155	△303
和解金の支払額	—	△70
関係会社整理損の支払額	—	△49
法人税等の還付額	23	301
法人税等の支払額	△1,703	△1,753
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,570	3,011
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,145	△594
定期預金の払戻による収入	593	1,370
有形固定資産の取得による支出	△4,386	△4,877
有形固定資産の売却による収入	1,048	222
有形固定資産の除却による支出	△197	△125
無形固定資産の取得による支出	△735	△82
投資有価証券の取得による支出	△7	△14
投資有価証券の売却による収入	2,868	1,737
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△804
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	1,075	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	516	—
その他	5	△229
投資活動によるキャッシュ・フロー	△364	△3,397

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,150	△1,876
長期借入れによる収入	1,000	4,800
長期借入金の返済による支出	△700	—
リース債務の返済による支出	△413	△194
配当金の支払額	△996	△1,396
非支配株主への配当金の支払額	△116	△1,522
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△75	△189
現金及び現金同等物に係る換算差額	470	19
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,601	△556
現金及び現金同等物の期首残高	7,867	11,469
現金及び現金同等物の期末残高	11,469	10,913

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(期中における連結範囲の重要な変更)

当連結会計年度において、当社はボンフロン株式会社の全株式を取得したことにより、同社を連結子会社として連結の範囲に含めております。

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当連結会計年度に株式の取得により新たに連結子会社となった会社の資産及び負債の主な内訳

株式の取得により新たにボンフロン株式会社を連結したことに伴う連結開始時の資産及び負債の内訳並びにボンフロン株式会社の取得価額とボンフロン株式会社の取得による支出(純額)との関係は次のとおりであります。

流動資産	1,275百万円
固定資産	417
のれん	350
流動負債	△1,105
固定負債	△22
非支配株主持分	—
ボンフロン株式会社の取得価額	915
支配獲得時までの取得価額	△30
段階取得に係る差益	△61
ボンフロン株式会社の現金及び現金同等物	△19
差引：ボンフロン株式会社の取得による支出	804

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び経営成績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に国内塗料及び海外塗料に関する事業部門を置き、国内塗料事業会社並びに海外塗料事業会社における製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。また、国内連結子会社において照明機器事業並びに蛍光色材事業を展開しております。したがって当社グループの報告セグメントは、国内塗料事業、海外塗料事業、照明機器事業、蛍光色材事業の4つとしております。

国内塗料事業は、国内における塗料の製造・販売を行っております。海外塗料事業は、主にアジア、北中米地域において塗料の製造・販売を行っております。照明機器事業は、各種照明機器の製造・販売並びに店舗工事等を行っております。蛍光色材事業は、蛍光顔料及び特殊コーティング材の製造・販売を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び手続に準拠した方法であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

なお、セグメント間の取引は、連結会社間の取引であり、市場価格等に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2 (注) 4	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	50,921	8,133	10,418	1,158	70,632	1,879	72,511	—	72,511
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,124	7	44	95	1,271	2,356	3,627	△3,627	—
計	52,045	8,140	10,462	1,254	71,903	4,235	76,139	△3,627	72,511
セグメント利益	1,968	238	2,063	59	4,331	79	4,411	305	4,716
セグメント資産	101,998	18,311	16,091	1,265	137,666	2,118	139,785	△6,441	133,344
その他の項目									
減価償却費	1,527	525	360	44	2,458	26	2,484	—	2,484
持分法適用会 社への投資額	326	2,039	—	—	2,366	26	2,393	—	2,393
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	3,539	258	1,282	7	5,088	12	5,100	—	5,100

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額305百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4. セグメント資産の調整額△6,441百万円は、セグメント間取引消去であります。

5. セグメント資産は、当連結会計年度において神東塗料株式会社を連結子会社化したことに伴い、「国内塗料」セグメントで28,206百万円、「海外塗料」セグメントで3,804百万円が増加しております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2 (注) 4	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	71,870	8,590	10,424	1,088	91,974	1,785	93,759	—	93,759
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	966	18	133	124	1,242	2,456	3,699	△3,699	—
計	72,837	8,609	10,558	1,212	93,217	4,242	97,459	△3,699	93,759
セグメント利益	1,231	368	1,928	64	3,593	△37	3,555	298	3,854
セグメント資産	107,413	14,991	17,959	1,373	141,737	2,431	144,168	△6,678	137,490
その他の項目									
減価償却費	2,055	473	463	45	3,037	40	3,078	—	3,078
持分法適用会 社への投資額	514	1,959	—	—	2,474	30	2,505	—	2,505
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	4,202	412	814	15	5,444	57	5,502	—	5,502

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額298百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4. セグメント資産の調整額△6,678百万円は、セグメント間取引消去であります。

5. セグメント資産は、当連結会計年度においてボンフロン株式会社を連結子会社化したことに伴い、「国内塗料」セグメントで1,189百万円が増加しております。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

報告セグメントと同一区分のため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位:百万円)

日本	その他	合計
63,618	8,892	72,511

## (2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	その他	合計
41,150	4,890	46,040

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%に満たないため、主要な顧客ごとの情報の記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

報告セグメントと同一区分のため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位:百万円)

日本	その他	合計
83,930	9,829	93,759

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%に満たないため、主要な顧客ごとの情報の記載を省略しております。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	その他	全社・消去	合計
減損損失	243	275	—	—	—	—	519

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	その他	全社・消去	合計
減損損失	996	—	—	—	—	—	996

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	その他	全社・消去	合計
当期償却額	17	—	—	—	—	—	17
当期末残高	333	—	—	—	—	—	333

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

「国内塗料」セグメントにおいて、神東塗料株式会社の株式を、50.1%取得し、子会社化いたしました。これに伴い、当連結会計年度において、5,205百万円の負ののれん発生益を計上しております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	2,281.92円	2,337.80円
1株当たり当期純利益	331.40円	59.16円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	329.61円	58.86円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	9,437	1,688
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	9,437	1,688
普通株式の期中平均株式数(千株)	28,476	28,540
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(千株)	155	146
(うち新株予約権(千株))	(155)	(146)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 5. 個別財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	496	394
受取手形	1,363	274
電子記録債権	4,403	5,397
売掛金	5,536	6,170
商品及び製品	3,160	2,875
仕掛品	606	553
原材料及び貯蔵品	1,681	1,796
短期貸付金	1,615	2,224
未収入金	2,694	3,014
その他	450	336
貸倒引当金	△63	△1,412
流動資産合計	21,945	21,627
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,298	5,704
構築物	305	586
機械及び装置	1,307	2,361
車両運搬具	12	8
工具、器具及び備品	589	572
土地	7,669	7,669
リース資産	77	18
建設仮勘定	1,941	354
有形固定資産合計	15,201	17,276
無形固定資産		
借地権	64	64
ソフトウェア	840	705
リース資産	5	0
その他	98	60
無形固定資産合計	1,009	830
投資その他の資産		
投資有価証券	6,390	5,573
関係会社株式	12,868	13,382
長期貸付金	1,262	1,281
前払年金費用	15,329	16,450
その他	263	439
貸倒引当金	△9	△260
投資その他の資産合計	36,103	36,866
固定資産合計	52,314	54,973
資産合計	74,260	76,600

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	311	122
電子記録債務	1,985	1,858
買掛金	10,909	10,642
短期借入金	5,550	3,600
リース債務	82	51
未払金	920	1,050
未払費用	789	755
未払法人税等	201	83
預り金	6,441	6,491
役員賞与引当金	29	16
製品補償引当金	157	106
品質関連損失引当金	86	21
開発中止損失引当金	80	66
関係会社整理損失引当金	—	22
その他	284	235
流動負債合計	27,828	25,124
固定負債		
長期借入金	1,000	5,800
リース債務	229	177
繰延税金負債	5,044	4,995
再評価に係る繰延税金負債	1,215	1,215
退職給付引当金	74	69
その他	31	31
固定負債合計	7,595	12,289
負債合計	35,424	37,414
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,827	8,827
資本剰余金		
資本準備金	2,443	2,443
その他資本剰余金	—	0
資本剰余金合計	2,443	2,443
利益剰余金		
利益準備金	780	780
その他利益剰余金		
社会貢献活動積立金	100	100
繰越利益剰余金	23,022	23,674
利益剰余金合計	23,903	24,555
自己株式	△1,394	△1,318
株主資本合計	33,780	34,508
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,247	2,887
土地再評価差額金	1,669	1,669
評価・換算差額等合計	4,917	4,557
新株予約権	138	120
純資産合計	38,836	39,186
負債純資産合計	74,260	76,600

## (2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	43,341	43,105
売上原価	32,290	32,310
売上総利益	11,050	10,794
販売費及び一般管理費	9,987	10,424
営業利益	1,062	369
営業外収益		
受取利息	53	51
受取配当金	1,792	2,872
その他	565	830
営業外収益合計	2,411	3,754
営業外費用		
支払利息	90	167
貸倒引当金繰入額	—	381
製品補償引当金繰入額	88	38
不動産賃貸費用	101	217
その他	109	91
営業外費用合計	389	895
経常利益	3,085	3,229
特別利益		
投資有価証券売却益	2,124	1,300
その他	0	—
特別利益合計	2,125	1,300
特別損失		
固定資産処分損	212	174
減損損失	238	—
関係会社株式評価損	1,198	179
品質関連損失	234	389
関係会社整理損	—	1,372
その他	189	—
特別損失合計	2,073	2,115
税引前当期純利益	3,137	2,413
法人税、住民税及び事業税	225	257
法人税等調整額	654	107
法人税等合計	879	365
当期純利益	2,258	2,048

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本									
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金				利益剰余金合計
					社会貢献活動積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	8,827	2,443	—	2,443	780	100	21,750	22,631	△1,431	32,470
当期変動額										
社会貢献活動積立金の取崩						△0	0	—		—
剰余金の配当							△996	△996		△996
当期純利益							2,258	2,258		2,258
自己株式の取得									△0	△0
自己株式の処分			△3	△3					37	34
自己株式処分差損の振替			3	3			△3	△3		—
土地再評価差額金の取崩							13	13		13
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)										
当期変動額合計	—	—	—	—	—	△0	1,272	1,272	37	1,309
当期末残高	8,827	2,443	—	2,443	780	100	23,022	23,903	△1,394	33,780

	評価・換算差額等			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計		
当期首残高	5,194	1,717	6,911	155	39,538
当期変動額					
社会貢献活動積立金の取崩					—
剰余金の配当					△996
当期純利益					2,258
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					34
自己株式処分差損の振替					—
土地再評価差額金の取崩					13
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,946	△48	△1,994	△17	△2,011
当期変動額合計	△1,946	△48	△1,994	△17	△701
当期末残高	3,247	1,669	4,917	138	38,836

当事業年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本									
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
						社会貢献活動積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	8,827	2,443	—	2,443	780	100	23,022	23,903	△1,394	33,780
当期変動額										
剰余金の配当							△1,396	△1,396		△1,396
当期純利益							2,048	2,048		2,048
自己株式の取得									△0	△0
自己株式の処分			0	0					75	76
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)										
当期変動額合計	—	—	0	0	—	—	651	651	75	727
当期末残高	8,827	2,443	0	2,443	780	100	23,674	24,555	△1,318	34,508

	評価・換算差額等			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計		
当期首残高	3,247	1,669	4,917	138	38,836
当期変動額					
剰余金の配当					△1,396
当期純利益					2,048
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					76
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△360		△360	△17	△377
当期変動額合計	△360	—	△360	△17	350
当期末残高	2,887	1,669	4,557	120	39,186

## 6. その他

## 役員の変動 (2026年6月24日付)

## [代表者の変動]

該当事項はありません。

## [その他役員の変動]

## ①新任取締役候補

社外取締役	なかむらまさひろ 中村正博	[現 株式会社丸の内よろず 特別顧問 株式会社百五銀行 社外監査役]
社外取締役	やしらかよこ 八代華代子	[現 学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学 客員教授 株式会社Conphonity 代表取締役]

## ②退任取締役

社外取締役	はやしきみよ 林紀美代
社外取締役	さとうひろし 佐藤弘志

## ③新任監査役候補

監査役	はやしきみよ 林紀美代	[現 社外取締役]
-----	----------------	-----------

## ④退任監査役

社外監査役	にしだけい 西田啓
-------	--------------

以上